

会議議事録

会議名	2020年度第2回福祉分野教育課程編成委員会
対象学科	介護福祉科
開催日時	2021年2月26日(金) 15:00~17:00 (2.0h)
場所	本校7階 研修室
出席者 (敬称略)	<p>① 企業等委員：戸嶋哉寿男委員(杉並定期巡回連絡会代表)、丸山泰一委員(社会福祉法人池上長寿園統括事業所長)、(計2名)</p> <p>② 本校委員：橋本正樹(校長)、岩上由紀子(介護福祉科学科長)、熊谷 崇(介護福祉科教員) 中嶋純也(介護福祉科教員)、宮下明久(事務局長)、(計5名)</p> <p>③ オブザーバー：武石稔弘(医療秘書科教員)(計1名)</p> <p>④ 事務局：土屋瑠美子 (参加者合計9名)</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>① 事前送付：□資料1：前回委員会議事録、 資料2-1：前回委員会以降の主な経過、資料2-2：2020年度就職状況の中間報告、 資料3-1：2020年度介護実習の報告、資料3-2：2020年度オンライン授業の実績(前回委員会以降)、 資料3-3：第33回介護福祉士国家試験受験の報告、 資料4-1：2020年度教員研修計画・実績、 資料4-2：2020年度教員研修報告書、 資料5-1：2021年度介護福祉科学事日程、□資料5-2：2021年度介護実習日程、□資料5-3：2020年度生・2021年度生カリキュラム、 資料5-4：2021年度カリキュラム開講期</p> <p>② 当日配付：2020年度23期生ケーススタディ集(外部委員のみ)</p> <p>③ 回覧資料：2020年度前期授業アンケート結果</p>
委員長	岩上学科長
議題等	<p>1. 校長挨拶 コロナ禍によりオンライン授業が増えているが、専門学校は実技・実習型の授業が必須で、その運営に苦労した。介護は高齢者の方を対象とするため特に条件が厳しかったが、優先的に卒業年次の実習を済ませて、ようやくここまでたどり着いた。来年度以降、オンラインの活用も含めて、専門教育のあり方を改めて考えていきたいと思う。現場の方と協力し、新しい方向、新しい見せ方を工夫していきたいので、ご意見をいただきたい、との挨拶が行われた。</p> <p>2. 前回委員会議事録の確認 事務局より修正事項等について意見を求めたところ、特段の指摘はなく、原案どおり確認、了承された。</p> <p>3. 2020年度の活動報告等 (1) 前回委員会以降の主な経過(資料2-1・説明者：宮下事務局長)(資料2-2・説明者 岩上学科長) 資料2-1、2-2に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。</p>

(2) 2020 年度の活動報告

①2020 年度介護実習の報告(資料 3-1・説明者:中嶋教員)

②2020 年度オンライン授業の実績(前回委員会以降)(資料 3-2・説明者:熊谷教員)

③第 33 回介護福祉士国家試験受験の報告(資料 3-3・説明者:熊谷教員)

資料 3-1～3-3 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

(3) 2020 年度の教員研修に関する報告

①2020 年度教員研修計画・実績(資料 4-1・説明者:岩上学科長)

②2020 年度教員研修報告書(資料 4-2・説明者:岩上学科長)

詳細は資料 4-1、4-2 をご覧いただくことで確認、了承された。

4. 2021 年度の教育活動と学科運営について

①2020 年度介護福祉科学事日程及び介護実習日程(資料 5-1、5-2・説明者:熊谷教員)

②2020 年度生・2021 年度生カリキュラム(資料 5-3・説明者:熊谷教員)

③2021 年度カリキュラム開講期(資料 5-4・説明者:熊谷教員)

資料 5-1～5-4 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

5. 次回日程、その他

次回の日程について協議し、7月30日(金)15時～17時とすることが確認され、閉会した。

以上

2020 年度第 2 回福祉分野教育課程編成委員会の主な討議内容

3. 2020 年度の活動報告等

(1) 前回委員会以降の主な経過

○宮下事務局長、岩上学科長より資料 2-1、2-2 に基づき以下の報告が行われた。

1. 学生の状況関連

- (1) 退学の状況
- (2) 就職内定の状況

2. 2020 年度授業アンケート等の実施状況

- ・今年度から Web での回答に変更した。前期は授業回数や進行度合いにばらつきがあったので、専任教員のみを対象に行った。

3. 2021 年度生募集状況

(2) 2020 年度の活動報告

①2020 年度介護実習の報告（資料 3-1）

○中嶋教員より資料 3-1 に基づき以下の報告が行われた。

- ・2020 年度の介護実習は新型コロナウイルスの影響で見通しが立たない状況だったが、年末までに資料のとおり無事終了することができた。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策のガイドライン、実習中止に関する指針、体調管理、行動記録、アルバイトの状況等の資料の準備、実習施設の確保（実習可能施設の調整、新規の実習施設の開拓）などを行った。
- ・実施時にはマスクとフェイスシールドの準備、2 週間前からの体調、行動の管理、帰校日はオンラインにして実習中は学校に来ない等の配慮をした。
- ・実習の詳細は資料記載のとおり。

○企業等委員からの質問・意見と回答等は次のとおり。

質問・意見等	回答等
実習を受け入れてくれた特別養護老人ホームから、特に注意してほしい点を言われたか。	学科でガイドラインを作成して了解を得た。事前の体調管理、マスク等の準備などが全て揃うことが条件だった。 1 施設だが、休む場合の診断書の提出を求められた。
PCR 検査を受けて、陰性証明を提出することは求められたか。	PCR 検査は、施設負担で実習前と実習中の 2 回検査をするところもあった。

②2020 年度オンライン授業の実績（前回委員会以降）（資料 3-2）

○熊谷教員より資料 3-2 に基づき以下の報告が行われた。

- ・本校では、オンライン授業を①資料配信型、②双方向オンライン（Zoom）、③動画配信の 3 つの型で考えている。
- ・1 年生は年明けから講義科目を中心にオンラインで実施した。
- ・2 年生は主に国家試験対策を実施した。

③第 33 回介護福祉士国家試験受験の報告（資料 3-3）

○熊谷教員より資料 3-3 に基づき以下の報告が行われた。

- ・今年度からふりがな付き問題用紙を希望した留学生は試験時間が 1.5 倍（165 分）となった。
- ・1 月 31 日（日）に実施され、結果は 3 月 26 日に発表になる。

4. 2021 年度の教育活動と学科運営について

①2020 年度介護福祉科学事日程及び介護実習日程（資料 5-1、5-2）

○熊谷教員より資料 5-1、5-2 に基づき以下の報告が行われた。

- ・次年度より、4 期制の導入を予定している。

②2020 年度生・2021 年度生カリキュラム（資料 5-3）

○熊谷教員より資料 5-3 に基づき以下の報告が行われた。

- ・2020 年度生：「介護の基本Ⅲ」と「障害の理解」の担当教員が変更になる。
- ・2021 年度生：「人間関係とコミュニケーション」が 30 時間から 60 時間に増えたことにより I と II に、「生活支援技術」は複数の教員で担当する関係で I から VII に分けた。
「介護福祉事務」は引き続き入れている。

③2021 年度カリキュラム開講期（資料 5-4）

○熊谷教員より資料 5-4 に基づき以下の報告が行われた。

- ・4 期制で、原則として 1 週間に 2 コマずつ実施する。（1 日 2 コマ（連続、非連続）、1 日 1 コマずつ週 2 回）ただし、「介護過程」や「介護総合演習」などの通年で実施した方が学習効果が得られる科目は、従来どおり週 1 回で通年で行う。
- ・メリット：1 期当たりの科目数が減るので、短期集中して実習ができる。
定期試験の受験科目数が減るので、試験対策の負担を軽減できる。
- ・デメリット：2 コマ連続して実施した場合、学生の集中力が心配。
1 日欠席すると、2 コマ分になってしまう。

○企業等委員からの質問・意見と回答等は次のとおり。

質問・意見等	回答等
<p>短期集中は非常勤の先生にとってもスケジュールが取りやすい。</p> <p>①定期試験も年 4 回あるのか。</p> <p>②補習や補講はどうするのか。</p> <p>コロナ禍でアルバイトがなくなり、学費や生活費が不足して学校に来れなくなる例はなかったか。</p>	<p>兼任の先生には賛成の方が多い。2 コマあるといろいろな授業展開ができる。</p> <p>学生にとっては学びやすくなる。今はアルバイトをしている学生も多いので、授業を圧縮して 3 限までにするなどの配慮も考えられる。</p> <p>①4 回ある。その科目が終わり次第、随時実施していくイメージである。</p> <p>②空き時間で個別に対応したり、流動的に時間割を調整して実施している。</p> <p>留学生の中で当初はあった。中には、将来、国に帰って介護事業を立ち上げる人もいる。企業や施設に若干の奨学金を用意してもらい、現</p>

<p>(その他の質問・意見)</p> <p>コロナ禍において実習を受け入れてもらいやすくするには、学校としてどのような状況を整えればよいか。</p> <p>まだしばらくは実習生の受入れは難しいか。</p> <p>今は現場でも退院カンファレンスをオンラインでやるが増えているので、学生のうちから慣れていることは強みになると思う。</p> <p>ガイドラインの他に、学生に正しい新型コロナウイルスの知識を理解させるようなことはしているか。</p>	<p>地の募集から養成施設での教育、アルバイトをした介護施設への就職という流れをつくる動きが出てきているので、乗り遅れないようにしたい。</p> <p>PCR 検査は必須かと思う。</p> <p>利用者面会を制限しているので、感情的にもなかなか難しい。</p> <p>在宅のほうも、コロナに対する考え方が千差万別なので厳しい。</p> <p>ご意見として伺った。</p> <p>施設側の要望にもあったので、全員に総合演習の授業で実施した。</p> <p>医療マネジメント科の兼任講師が教員向けに行った研修内容を、動画で学生にも見せている。</p>
---	---

以上